

NO!リニア

No. 18

2009年12月22日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

本当に大丈夫か『リニア』! 社員は雇用危機にさらされる?!

JR東海が進めているリニア中央新幹線構想への疑問、問題点は、この間発行してきた本紙で明らかにしてきたところです。

会社の計画で克服されていない課題や対策、問題点などについて再度確認してみましょう。

- ★建設費試算
- ★現在の長期債務の返済計画
- ★採算見通し
- ★乗車人員の見通し
- ★活断層及び地盤変動の対策
- ★電磁波対策
- ★トンネルからの脱出などの異常時対策
- ★環境対策(廃土処理、水源枯渇対策、生態系破壊など)
- ★供給電力対策
- ★大規模改修費用積立金

以上、会社の試算、安全対策などは、まったく根拠に欠けているというしかありません。それでも「リニア」の展望はあるといえるのでしょうか。採算が合わなくなれば、経営破綻は目に見えています。すると、私たち社員には雇用危機が襲ってきます。特に今の20代、30代の社員はそれ相応の覚悟が必要です。運よく残ったとしても、劣悪な労働条件でコキ使われるのは明らかです。JR東海は第二のリーマンブラザーズ、JALの道を進もうとしています。

経営破綻の道＝リニア中央新幹線構想を再考させるためには、職場から勇気を持って声をあげるしかありません。JR東海労は、会社のチェック機能を最大限発揮していきます。みんなでリニア中央新幹線構想についてもう一度考えましょう!

JALのようにJR東海も国が
経営関与するハメになるのか?

※本紙は本号で区切りとしますが、必要により発行致します。